

平成30年

健康福祉委員会

4月10日

豊明市議会

健康福祉委員会会議録

平成30年4月10日

午後1時00分 開会

午後1時21分 閉会

1. 出席委員

委員長	近藤千鶴	副委員長	清水義昭
委員	富永秀一	委員	鵜飼貞雄
委員	毛受明宏	委員	早川直彦
委員	近藤善人		

2. 欠席委員

なし

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	鈴木美智雄	議事課長	近藤恒明
議事課長補佐 兼議事担当係長	水野美樹	庶務担当係長	花井悟之

4. 説明のため出席した者の職、氏名

健康福祉部長	加藤育子	保育課長	浅井俊一
指導保育士	樋口桂子		

5. 傍聴議員

なし

6. 傍聴者

なし

午後1時開会

○健康福祉委員長（近藤千鶴議員） ただいまから健康福祉委員会を開会いたします。

これより会議を開きます。

本日の傍聴については、申し合わせに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴者の入室を許可します。

本日の議事につきましては、お手元に配付いたしました議題に従い会議を進めます。

議題1、所管事務調査報告についてを議題といたします。

別紙のとおり、委員会報告書を取りまとめいたしました。

では、ただいまから委員長報告書を朗読し、確認をいたしますので、よろしくお願ひいたします。

平成30年4月10日、豊明市議会議長、月岡修一様、健康福祉委員会委員長、近藤千鶴。

健康福祉委員会所管事務調査報告書。

本市において、保育園に預けられない、いわゆる待機児童が問題となっている。

この問題を喫緊の課題と捉え、早期解決に向けどのような策があるのか検討するため、健康福祉委員会における所管事務調査として、本市の待機児童の現状と対策についてを実施することとした。

1、所管事務調査の概要。

（1）所管事務調査の決定。

平成29年10月6日の本委員会において、次のとおり調査事項、目的、方法及び期間を決定し、豊明市議会会議規則第105条の規定により議長に通知した。

ア、調査事項、平成29年度における待機児童の現状把握について、待機児童対策の現状と今後について、一時保育の現状について、民間保育の現状と今後について、課題、要望などの率直な意見交換。

イ、目的、待機児童問題の解決に向けて検討するため、本市の待機児童の現状と対策について調査する。

ウ、方法、担当職員からの説明、関係資料の審査、現地調査。

エ、期間、平成30年4月27日まで。

（2）委員会及び協議会、アンケート調査の開催状況。

平成29年9月14日から平成30年4月10日まで、委員会6回、協議会9回及びアンケート調査を開催した。開催状況は次のとおりである。

所管事務調査の経緯。

平成29年9月14日、協議会、所管事務調査の実施について。9月29日、協議会、所管事

務調査の実施内容について。10月6日、委員会、所管事務調査の実施について。10月16日、委員会、担当部署より本市の現状について聞き取り。12月12日、協議会、所管事務調査の方向性について。12月18日、協議会、アンケートの実施について。12月21日、協議会、アンケート調査の内容及び実施方法について。12月22日、委員会、アンケート調査の実施について。12月25日、協議会、アンケート調査の内容について。同日、委員会、アンケート調査の実施について。

平成30年1月15日、アンケート調査、乳幼児健診の保護者を対象にアンケート用紙を送付。2月6日、アンケート調査、保健センターにて2歳3カ月健診児の保護者からアンケート用紙を回収。2月7日、アンケート調査、保健センターにて3カ月健診児の保護者からアンケート用紙を回収。2月8日、アンケート調査、保健センターにて1歳6カ月健診児の保護者からアンケート用紙を回収。2月14日、アンケート調査、保健センターにて3歳健診児の保護者からアンケート用紙を回収。2月21日、協議会、アンケートの集計結果について。3月8日、委員会、アンケート調査結果の内容について担当部署へ質疑を実施。3月28日、協議会、提言・報告書作成について。

4月5日、協議会、報告書の内容について。

4月10日、委員会、報告書について。

2、調査結果。

(1) 聞き取り調査より主なもの。

平成29年4月1日入所では、国基準の待機児童が2名、潜在的待機児童が46名の計48名であったが、7月1日時点では6名プラス67名の計73名、10月1日時点では14名プラス107名の計121名である。

小規模保育事業所が3カ所ふえたにもかかわらず、実態として待機児童数がふえているのは、受け入れ枠がふえても、ニーズもまたふえているからだと推測される。

保育士不足による定員減の影響もある。前年度10月と今年度10月との比較で、公立園では、ゼロ歳児6名、1歳児で10名、2歳児で26名定員が減っている。計算上はあと7名保育士がいれば、同じだけ園児を受け入れられる。

本市の公立保育園で働く非常勤職員が、他の自治体の保育所へ正職員として移ってしまうこと等が要因で保育士不足となっている。

10月1日現在、非常勤保育士が87名いる。正職員並みの待遇を受けられるキャリア採用は1名、任期付採用は2名。保育士資格と幼稚園教諭の2級免許が必要。任期付採用は、正職員として5年以上の経験が必要。

子ども・子育て支援事業計画では、平成31年度までにA型の小規模保育事業所を四、五

カ所としている。計画にはなかったが、平成30年4月オープン予定で事業所内保育所が準備を進めている。30名中、地域枠を26名いただける見込み。ほかにもう一カ所、事業所内保育所の開設について相談を受けている。

認定こども園を、早くて平成32年度オープンを目指す形で相談を受けている。

(2) アンケート調査より主なもの。

第7希望まで全部外れ、本当に入れないと知って驚いた。

希望の保育園に入所できるよう、定員枠をふやしてほしい。

きょうだいと同じ園に入園させたい。別々の園なので送り迎えが大変。

保育園の空き情報、待機の状況を知りたい。

年度途中入園の手続きをどうしたらいいかわからなかった。

年度途中入園を希望したが入れず、育児休業を延長した。

年度途中では入れないので、4月入所に合わせて育休を削り、ゼロ歳児で預けた。1歳前に預けるのは不安だった。

入園説明会から申し込みまでが短期間のために大変だった。

入園決定通知が遅く、準備期間にゆとりがなかった。

産休明けから預けられるよう予約をしたい。

祝日でも仕事はある。祝日保育にも対応してほしい。

保育についての情報のウェブサイトへの掲載を早く、詳しくしてほしい。

もっと朝早く、夜遅くまで預かってほしい。

3、調査を終えて。

待機児童ゼロに向けて、スピード感を持ち、さまざまな施策を打っていくことを要望する。特に以下については、速やかに取り組んでほしい。

1) 保育士正規職員の報酬や手当などの増額を検討すること。

2) 公立保育園で働く非常勤一般職の、経験年数に応じた報酬増や、賞与の支給を検討すること。

3) 保育所の情報をウェブサイト等で積極的に提供し、常に最新の状態に保つこと。

4) 保育所の入所や保育、育児に関する相談場所を、保護者にわかりやすく周知すること。

5) 入園説明会から申し込み期限までの期間を長くとること。

6) 入園仮決定通知に変更なき場合は決定となること等、表記をわかりやすくすること。

4、終わりに。

健康福祉委員会では、近年、本市においても表面化してきた待機児童問題について、所

管事務調査を実施することとした。

しかし、取りかかると、待機児童だけではなく、子育て世代にはさまざまな問題が発生しており、また、短期間で問題が変化するため、集約して把握することが難しいことが判明し、調査方法の検討段階から二転三転し、実施に至った。

アンケート調査では、子育て世代の実態が一部分明らかになり、課題が整理できたと思われるが、全てを反映していないので、今後実施する場合には、調査項目の設定に工夫が必要と思われる。

豊明市において、市民が安心して子育てできるように、総合的かつ計画的に体制づくりを進めるよう、市議会としても力を合わせていきたい。

調査委員、委員長、近藤千鶴。副委員長、清水義昭。

委員、毛受明宏、近藤善人、早川直彦、富永秀一、鶴飼貞雄。

報告書は以上の内容になりますが、この報告書について、何か御意見がありますでしょうか。

富永委員。

○富永秀一委員 1点だけなんです、これがあつたほうがいいのかなど思ったのが、調査の数字だけ、要するに、該当者が236名で回答者が171名で回答率が72.5%という、その数字だけでもあつたほうがいいのかなど思いました。この自由記入欄からの抜粋だけだと、せいぜい二、三十のアンケートというふうにも見えるものですから、実際にはかなりの数の、対象に対してかなりの率で皆さん協力していただけてますし、これだけの規模だったということは数字があつてもいいのかなどというふうに思いました。

具体的には、多分、2の調査結果の中の(2)のアンケート調査のところ、そのアンケート調査として、「(該当者236、回答者)」というふうにつなげて、もう一段下にして、自由記入欄より主なものみたいな感じにすると、1行足すだけでできるのかなと思いました。行間を詰めてできればいいですし、できなければ、上のほうでちょっと1文字削れば1行あけられる文章があるので、例えば「ニーズもまたふえているからだ」の「だ」を抜くだけでも多分1行あけられるので、そういう形でうまくおさまるかなというふうに思いました。

○健康福祉委員長(近藤千鶴議員) 「アンケート調査より」のところ、の後に数字を入れるということですね。

○富永秀一委員 そうですね。

○健康福祉委員長(近藤千鶴議員) これについて、ほかの委員の方から御意見、どうでしょうか。

早川委員。

○早川直彦委員 左側の表の中の集計結果、アンケートの集計結果についてというところの、どこに入れてもいいのかなというふうに。

○健康福祉委員長（近藤千鶴議員） この表に。

○早川直彦委員 私は、右側のほうのページは、「（主なもの）」というほうがわかりやすいかなというふうに思ったんですが。聞き取り調査よりで、「（主なもの）」。

○健康福祉委員長（近藤千鶴議員） 「主なもの」に括弧をつけるということですね。

○早川直彦委員 表のほうに、対象人数が何人で、何人というふうに入れるほうがわかりやすいかなというふうに思ったんですが。

○健康福祉委員長（近藤千鶴議員） 年齢別に入れるということですか。

○早川直彦委員 配布数と回答数と回答率だけでよろしいんじゃないんですかね。

○健康福祉委員長（近藤千鶴議員） どこの表に入れたらいい。

○早川直彦委員 アンケートの集計結果が2月の21日でしたっけ。

○健康福祉委員長（近藤千鶴議員） はい。ここに。

○早川直彦委員 そこに……。

○健康福祉委員長（近藤千鶴議員） 足すということですね。

○早川直彦委員 ええ。これ、行がふえても、まだ下に余裕がありますので。

○健康福祉委員長（近藤千鶴議員） 配布数と回答率……。

○早川直彦委員 そうですね。

○健康福祉委員長（近藤千鶴議員） で、パーセントですね。

○早川直彦委員 パーセント。

○健康福祉委員長（近藤千鶴議員） ほかの委員の方、これについて御意見、どうでしょうか。

どちらがよろしいですか。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 早川委員のほうでお願いします。

○健康福祉委員長（近藤千鶴議員） アンケートの調査のほうで入れるか、まず、入れるかどうかですね。

数字を、アンケートの配布数、それから回収数、それで回収率を入れたほうが良いと思われる方の挙手をお願いします。

（賛成者挙手）

○健康福祉委員長（近藤千鶴議員） それで、じゃ、それを入れるということ。

入れる場所ですけど、アンケート調査よりの「主なもの」の後のところに入れるか、表のほうに数字を入れるか、どちら……。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 どちらでもいいですけど、例えばこの「アンケート調査より主なもの」のところでもし入れるとなると、多分1番、(1)の聞き取り調査より主なものも全部そろえるのに変える必要があるのかなと思いますので、簡潔かつ合理的にいくのであれば、表の中でいいのかなと思います。

○健康福祉委員長(近藤千鶴議員) 表のほうがいいという声のほうが多いようですが、よろしいでしょうか。

富永委員。

○富永秀一委員 どこかできちんと数字が伝わればいいと思いますので、たしかに下に余裕がありますので、1行加えても問題ないという意味では左側に入れてもいいのかなと思います。だから、2月21日の協議会の……。

○健康福祉委員長(近藤千鶴議員) ところにですね。

○富永秀一委員 アンケート集計結果の下にということですよ。

ちなみに、その集計結果も、早川さんがまとめてくださったものだとか該当者という言い方になってます。用語は別に考えてもらえばいいと思います。該当者236名、回答者171名で、回答率が72.5%というふうになってます。

○健康福祉委員長(近藤千鶴議員) アンケートの集計結果のところに書いてあるのですね。

○富永秀一委員 そうですね。一番上のところにありますね。

○健康福祉委員長(近藤千鶴議員) それでは、調査結果の経緯についての表の中に数字を入れるということよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

○健康福祉委員長(近藤千鶴議員) あと、早川委員からありました、2の調査結果の(1)、(2)の「主なもの」に括弧をつけるということについてはどうでしょうか、御意見。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 このままでいいと思います。

○健康福祉委員長(近藤千鶴議員) それでは、現行のままでよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

○健康福祉委員長(近藤千鶴議員) ほかにございませんか。よろしいですか。

(進行の声あり)

○健康福祉委員長（近藤千鶴議員） それでは、お諮りいたします。本委員会における今回の所管事務調査の報告につきましては、御指摘いただいた箇所は訂正は正副委員長一任とし、議長への提出ということでよろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

○健康福祉委員長（近藤千鶴議員） それでは、4月23日の全員協議会で報告することとしてよろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

○健康福祉委員長（近藤千鶴議員） 御異議なしと認めます。

所管事務調査の報告につきましては、訂正をし、議長へ提出後、全員協議会で報告をさせていただきます。

さらにお諮りいたします。この所管事務調査の報告書のホームページの掲載については、掲載することとしてよろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

○健康福祉委員長（近藤千鶴議員） 御異議なしと認めます。

報告書は例に従いホームページに掲載させていただきます。

次に、議題2、その他について。

委員より何かございますでしょうか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（近藤千鶴議員） ないようですので、所管事務調査は以上で終わります。

これにて健康福祉委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。ありがとうございました。

午後1時21分閉会